

機器・設備が複数施設に分散

施設間での職員の行き来や機器・機材の移動が必要。

(使用した機器・設備が事務所とした鳴門合同庁舎から離れた工業技術センターや中央テクノスクール等に分散しているため、移動に時間がかかり、作業の効率性が低下)

ケーブル焼損試験を、発煙・発火の影響をできるだけ少なくするため、広い空間を有する中央テクノスクールにて実施。その際、工業技術センターから赤外線サーモグラフィ装置を借用。本来、工業技術センターの機器は持ち出し不可。

機器の外部への持ち出しは複数同時に発生することが想定され、施設側にとっても支障が生じると考えられる。

国民生活センターでは、消費生活センターからのテスト依頼を年間200件程度受け付けており、常時30～40件程度のテストを実施している。職員は日常的に様々な機器・設備間を行き来しながら、複数案件を同時進行している。

複数施設に分散して同様の件数のテストを実施することは困難。

徳島県施設の所在地



市場調査

周辺の店舗数が限られているため、テスト対象銘柄を選定する際の市場調査を、従来と比べてより広範囲に実施する必要あり。

「入浴用いす」の市場調査結果

徳島県で市場調査を行ったところ、店頭で構造等を確認できる銘柄が少なく、銘柄選定に支障があった。

調査範囲	調査店舗数(販売店舗数)	事業者数	銘柄数
相模原事務所半径10km圏内	38店舗(24店舗)	9社	26銘柄
徳島県合計	16店舗(7店舗)	4社	10銘柄
鳴門合同庁舎半径10km圏内	7店舗(3店舗)	3社	4銘柄
工業技術センター半径10km圏内	14店舗(6店舗)	3社	8銘柄

「少量の失禁尿を吸収するとうたった下着」の市場調査結果

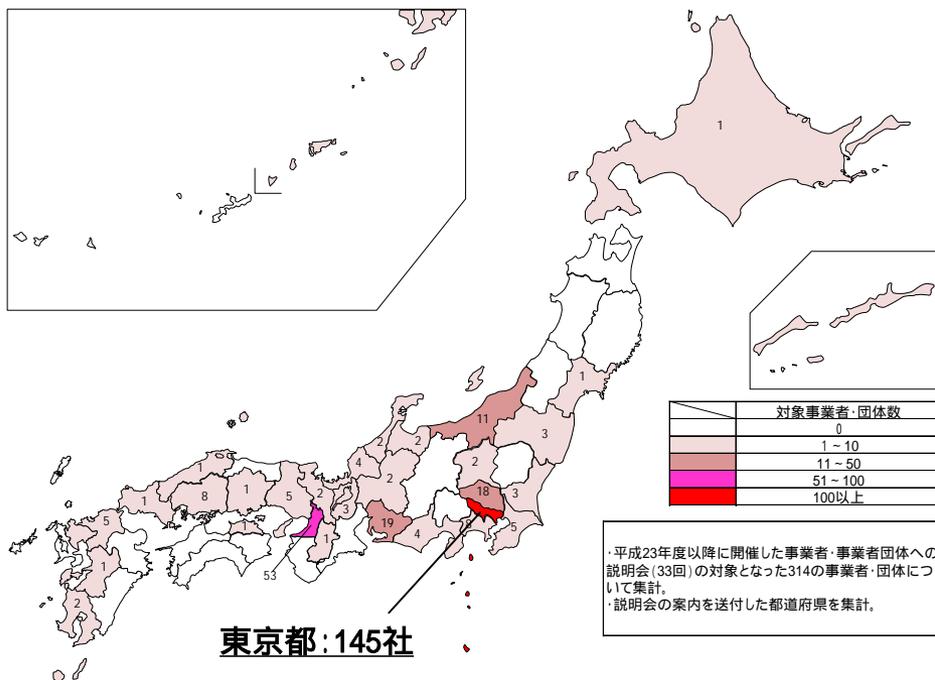
徳島県には、テスト対象12銘柄中2銘柄の取扱店舗がなかった。当該銘柄は、徳島県にない特定の店舗(全国シェア2位(シェア15%)の大手スーパーマーケット)でのみ販売されている商品であった。

	事業者数	銘柄数
テスト対象銘柄	10社	12銘柄
徳島で取扱店舗がない銘柄	1社	2銘柄

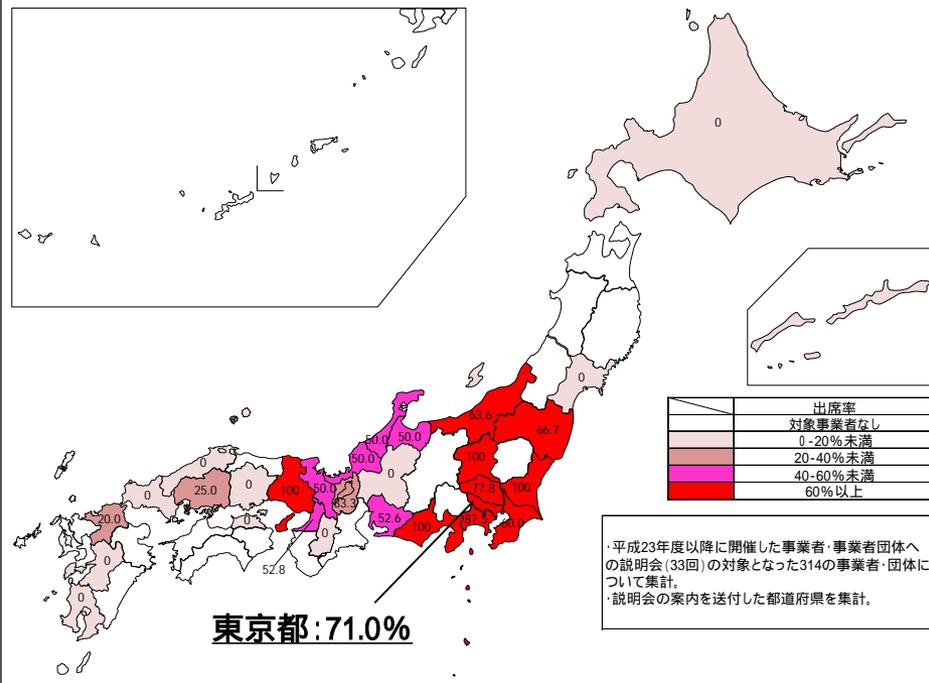
事業者のアクセス等

公表の対象となる商品の製造・販売事業者は東京圏に多い。(事業者との交渉が困難になる可能性あり)

注意喚起のためのテストの対象事業者の分布
(平成23年度以降実施分、合計314社)



事業者・事業者団体への説明会出席率(平成23年度以降実施分、合計314社)



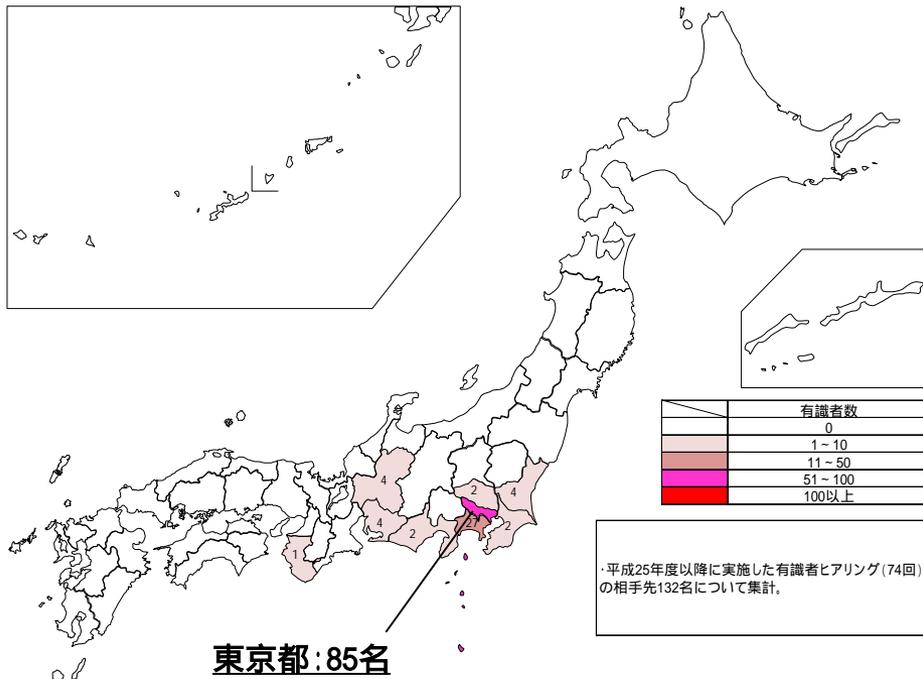
今回の試行で、事業者・事業者団体への説明会()を徳島県で実施する旨の連絡をしたが、参加は7社中3社のみ。ほぼ全社から、アクセス面の課題への指摘あり。

()説明会では、テスト対象とした全ての事業者・事業者団体に対面でテスト方法や公表内容を説明し、改善要望等を直接伝えている。

有識者のアクセス等

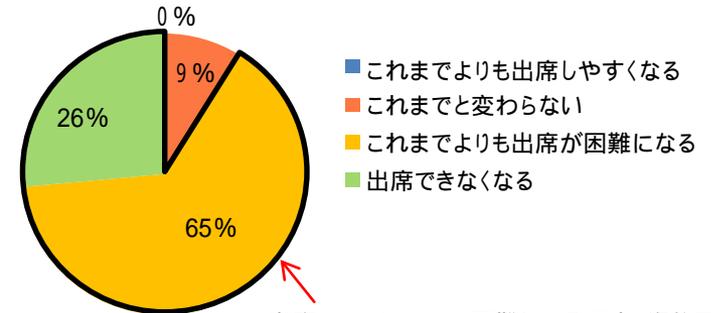
商品テストの企画・立案や結果の分析・評価に必要なこれまでの有識者は東京圏に集中。

ヒアリング先有識者の分布 (平成25年度以降実施分、74回・132名)

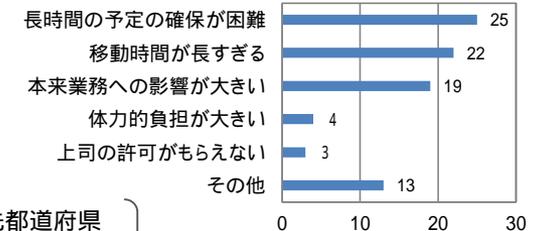


商品テスト分析・評価委員アンケート結果(回答数34)

徳島県で開催した場合、引き続き出席できるか
 「出席できない」「出席が困難になる」を合計すると91%。
 「従来より出席が容易になる」委員はいない。



出席できないまたは困難になる理由 (複数回答)



<参考> 回答者34名の勤務先都道府県

勤務先所在地	人数(34名中)
東京都	24名
神奈川県、大阪府	各3名
埼玉県	2名
茨城県、千葉県	各1名

審議会や委員会等へのアクセス

職員が委員等として参加する行政機関主催の審議会等や事業者・事業者団体等が主催する委員会、研修会等の開催場所は東京圏に集中。

行政機関が主催する審議会や事業者団体等が主催する委員会（JIS原案作成委員会等）の開催場所は東京圏が多く、アクセス面の問題から、移転により出席の機会が減少するおそれ。

	出席回数(平成27年度実績)	うち、東京都での開催回数
行政機関の検討会等	33回(延べ39名)	33回
JIS等外部委員会	55回(延べ55名)	54回

研修、セミナー等の開催場所は東京圏が多いため、移転による移動経費の増大等から参加の機会が減少するおそれ。

	参加回数(平成27年度実績)	うち、東京都での開催回数
研修、セミナー等	20回(延べ42名)	18回

徳島県における商品テストの可能性

試行において、徳島県の協力で、実際に使用されている商品を迅速に収集することができた。県内の病院が医療機関ネットワークに参画しており、更なる協力関係の構築を目指し得る。徳島県では新技術に関する機器の導入、社会実験について積極的。

使用中の「入浴用いす」の収集

「入浴用いす」のテストにおいて、一般消費者が使用中のいすを集め、脚部の腐食状態を調べるテストを実施。徳島県の協力により、迅速にいすを収集することができた。



徳島県の取組例

工業技術センターにLED製品性能評価機器を整備し、LEDの用途を拡大する企業の研究開発を支援。国土交通省が実施した政府初の無人航空機(ドローン)による貨物輸送実験に協力(平成28年2月)。